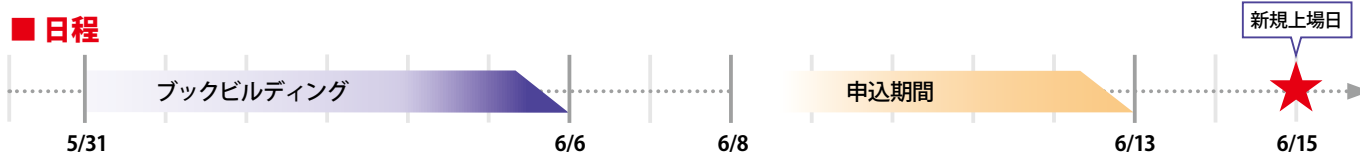


IPO銘柄 アトラエ (6194・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6194	100 株	公募: 9.50 万株 売出: 12.90 万株 (OA3.36 万株)	5,030 円~ 5,400 円 (29.8 倍)	大和証券



成功報酬型求人メディア「Green」を展開

■ 事業内容

成功報酬型求人メディア「Green」を展開する。ビッグデータ解析などのテクノロジーを駆使したマッチング手法が特徴。ビッグデータの活用によって、求職者、採用を考える企業の双方に最適化された情報を提供することができるレコメンドシステムを実現。書類選考通過率の向上に努めている。ターゲットとする業種は、採用ニーズの大きなIT、Web業界で、全体の9割を占める。新規事業としてタレントマイニングサービス「TalentBase」、完全審査制AI（人工知能）ビジネスパーソンマッチングアプリ「yenta」も展開。HR（Human Resources）事業の単一業態。

■ 特徴

新規事業の「TalentBase」は175万人分（16年3月末時点）のプロフィールデータ、ソーシャルデータを保有し、独自のデータ解析技術によって能力や志向、人間関係などを抽出することができる。「yenta」は、「TalentBase」のデータや解析技術を生かし、採用や情報交換、人脈形成などのビジネス上の出会いを実現するスマートフォン向けアプリ。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年9月期の非連結経常利益は前期比3.4倍の3億2,200万円を予想する。採用ニーズの拡大を背景に新規登録求人企業数、採用人数は増加。マッチング効率向上のためのコンテンツ拡充、レコメンド精度の向上など、取り組んできた施策の効果が寄与し始めている。

■ 定性分析

ネットビジネスを展開する企業はIPOマーケットで特別な人気を持ち、かつ市場の拡大する人材関連としても注目される。ビッグデータ、AIなどといった、株式市場の物色テーマにも乗りそうだ。仮条件の上限は目論見書記載の想定発行価格5,030円を上回る水準に設定されている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約13.9億円。軽量感のある規模ではないが、人気業種の案件であることから軽く吸収してしまいそうだ。また、ベンチャーキャピタル保有株はなく、公開株式以外の株券が市場に流出しづらい構造であることもポジティブ。（小泉健太）

■ 類似企業

アトラエ(6194・マザーズ)	予想PER29.8倍 (仮条件上限)
ディップ (2379・東証1部)	予想PER28.5倍
リブセンス (6054・東証1部)	予想PER22.4倍

■ 引受証券

大和証券、SMBC日興証券、いちよし証券、岩井コスモ証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年9月期(実績)	563	67.0	88	2.0倍	57	28.8	49.7	—
15年9月期(実績)	837	48.7	94	6.8	64	12.3	55.2	—
16年9月期(会社予想)	1,266	51.2	322	3.4倍	216	3.4倍	181.2	—

※ 15年7月に株式分割(1株→3,000株)を実施。14年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年9月期	388	332	197	82	169.5	59.3	34.4
15年9月期	1,164,000	398	261	82	224.7	65.7	28.0

※ 14年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ラウレア	380,000	29.32
2	新居 佳英	340,000	26.23
3	鎌田 和彦	270,000	20.83
4	菊川 暁	108,000	8.33
5	平井 誠人	57,000	4.40
6	廣末 紀之	30,000	2.31
6	羽根 正哲	30,000	2.31
8	岡 利幸	12,000	0.93
8	梅村 芳延	12,000	0.93
8	井戸本 知通	12,000	0.93
8	森田 孝一	12,000	0.93

経営陣

	役職	氏名
	代表取締役	新居 佳英
	取締役 TalentBaseプロジェクトリーダー	岡 利幸
	取締役 ADMプロジェクトリーダー	梅村 芳延
	取締役	戸塚 隆将
	常勤監査役	小笹 留美子
	監査役	羽根 正哲
	監査役	雪丸 真吾

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。